

リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備

リサーチ・アドミニストレーター(URA)

大学等において、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等を総合的にマネジメントできる研究開発に知見のある人材



背景

我が国の大学等では、研究開発内容について一定の理解を有しつつ、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等を行う人材が十分ではなく、研究者に研究活動以外の業務で過度の負担が生じている状況にある。

概要

- ① スキル標準の策定、研修・教育プログラムの整備など、リサーチ・アドミニストレーターを育成し、定着させる全国的なシステムを整備
- ② 研究開発に知見のある人材を大学等がリサーチ・アドミニストレーターとして活用・育成することを支援(専門性の高い職種として定着を図る)

制度化

展開

定着

目的

① 研究環境整備をサポート

② 大学等における研究環境整備

【H23スタート】スキル標準の策定
 ・スキル標準(URAの業務として一般に想定される内容ごとに必要な実務能力を明確化・体系化した指標)の作成を大学に委託

【H23スタート】研修・教育プログラムの整備
 ・スキル標準を活用した全国的な研修・教育プログラムを作成・実施

【H23スタート】リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備
 ・リサーチ・アドミニストレーターを配置し、専門性の高い職種として定着を図る(15拠点)

リサーチ・アドミニストレーターの業務
 ○シニア・リサーチ・アドミニストレーター
 リサーチ・アドミニストレーター組織の統括、大型研究プログラムの主体的な運営・進行管理等
 ○リサーチ・アドミニストレーター
 研究開発や産学連携の複数プロジェクトに係る申請、競争的資金等の企画・情報収集・申請、採択後の運営・進行管理、情報収集、交渉等

- ① 研究者の **研究活動活性化のための環境整備**
- ② 研究開発マネジメントの強化による **研究推進体制の充実強化**
- ③ 科学技術人材の **キャリアパスの多様化**

事務費(会議出席謝金、会議出席旅費、委員会等開催経費等)